

NGV Information

天然ガス自動車

【発行】東邦ガス株式会社 都市エネルギー営業部 【制作協力】名古屋市環境局地域環境対策部大気環境対策課

天然ガス自動車普及戦略シンポジウム

国土強靱化に向けての輸送用燃料の多様化と物流の更なるグリーン化

日時

2014年10月23日(木)
14時～18時半

主催

早稲田大学

場所

井深大記念ホール

天然ガス自動車(NGV)は、シェールガス革命を追い風に、世界では2,000万台を超えて普及拡大しています。また最近では、物流BCP(事業継続計画)の切り札としても注目を浴びています。今回のシンポジウムは、国土強靱化と燃料多様化をテーマに、早稲田大学総長の鎌田薫氏の挨拶で開会しました。

基調講演

佐川急便(株)の竹村取締役からは、「物流企業の立場からの物流の事業継続について」、4千台を超えるNGVの保有状況や、東日本大震災発生後のNGVトラックによる事業継続に関する発表がありました。また、祓川・貨物課長(国交省 自動車局)、伊吹・自動車課長(経産省 製造産業局)、小野・自動車環境対策課長(環境省 水・大気環境局)から各省の取り組みが紹介され、さらに、初代国土強靱化・前防災担当大臣の古屋氏も登壇し、NGVへの今後の期待に関する講演がありました。

パネルディスカッション

コーディネーター 早稲田大学・恩蔵教授

パネリストとして三省の課長、佐川急便(株)・竹村取締役の他、さいたま市・高橋課長、いすゞ自動車(株)・大平執行役員、東京ガス(株)・救仁郷副社長、東京工業大学・金谷教授が登壇され、それぞれの立場から、国土強靱化に向けた自動車燃料の多様化や大型NGVトラックへの期待について、活発な意見交換がなされました。

その中で、トラック等の重量車分野でのNGVの重要性や、国土強靱化の観点から平常時と緊急時の両方で活用できるビジネスモデルの必要性が確認されました。来年に控えたいすゞ自動車(株)の大型トラック導入に向けて、熱気あふれる議論が展開されました。最後に、日本ガス協会の尾崎会長の閉会挨拶で閉幕しました。



議論が白熱したパネルディスカッションの様子

環境デーなごや2014

「広げよう!未来へつながるESD」をサブタイトルに「環境デーなごや2014」中央行事が、平成26年9月13日(土)、名古屋市中区の久屋大通公園で開催されました。来場者総数は約14万人と大盛況でした。

会場の中の久屋広場では、佐川急便さまの天然ガストラックが展示されました。佐川急便さまは、配送時に排出する環境有害物質を削減するため、天然ガストラックの導入を推進しています。2014年3月現在SGホールディングスグループさま全体で4,002台、佐川急便さまで3,981台の天然ガストラックを保有されています。2011年7月に国際天然ガス自動車協会が実施した「一企業・団体における天然



ガス自動車保有台数調査」において、佐川急便さまの天然ガストラック保有台数はトラック部門で世界一であると認定されました。今後も、天然ガストラックをはじめ環境負荷の低い輸送手段の活用に取り組んでいかれるとのこと。

会場には天然ガス自動車のマスコットキャラクターも登場しました。このマスコットキャラクターは、流水が溶けて住むところが無くなってしまわない様に、みんなに地球温暖化防止をお願いしに来たあざらしの男の子です。環境にやさしい天然ガス自動車を応援していました。



みんなで学ぼう!

第9回

トラックと交通安全・環境フェア

平成26年10月5日(日)、恒例の社団法人愛知県トラック協会主催「第10回みんなで学ぼう!トラックと交通安全・環境フェア」が、豊田スタジアムで開催されました。同フェアはトラック輸送の役割や大切さ、さらに交通安全や環境保全を理解してもらおうと様々な展示が行われます。今年も多くの家族連れが訪れ、10時の開場前には入場を待つ長い列が



できました。数々の楽しいショーも行われ、子供たちの楽しそうな声が会場一杯に広がりました。

会場では(有)ヤマコンさま(小牧市)の大型天然ガストラックが展示され、多くの来場者の



注目を集めました。

天然ガストラックは、ディーゼル車やガソリン車、LPG車に比べCO₂やNO_x※1の排出量が少なく、PMは全く排出しないことから、トラック分野において最もクリーンな自動車です。特に大型天然ガストラックによる都市間輸送では、そうした環境負荷低減の効果がいっそう発揮されるため、普及が期待されています。

※1…窒素酸化物。大気汚染の原因の一つです。

名豊興運(株)さま 小牧市

大型天然ガストラックのモニター運用を開始

平成26年7月1日(火)、名豊興運(株)さまが10月末日までの予定で大型天然ガストラックのモニター運用を開始しました。

この大型天然ガストラックは、日本ガス協会が同トラックの普及促進事業として平成23年12月から都市間輸送を行う運送事業者を中心に貸し出しを行っているもので、3台の車両を使って今まで15社の事業者さまに実施していただきました。

このモニター事業は平成26年3月末をもって終了する予定でしたが、事業者さまからの要望などにより燃料制御をMPI方式に変更するなど種々の改良を加えたエンジンに生まれ変わった1台が1年間延長することになったものです。

同社では、6月から始まった麒麟ビールグループ会社からの委託により、稲沢物流センターから愛



知・岐阜・三重県内へ納品する業務にこのモニター車を投入し、毎日5～13tのジュース系飲料を積んでラウンド走行しています。

「初めてハンドルを握る大型天然ガストラックに緊張感もありましたが、走行フィーリングやトルクとレスポンスもディーゼル車並みなので安心して乗ることが出来、待機中の排気ガスも気にならないと」ドライバーさまにも好評です。

モニター事業初となる市街地ラウンド配送のデータは、都市間輸送とは若干異なると思われませんが、総合評価の結果が楽しみです。

CNGタンクの交換について 事例紹介

天然ガス自動車に搭載されているCNGタンク(ガス容器)は、高圧ガス保安法により容器製造時より15年を超えて使用することができませんが、新しいCNGタンクに載せ替ることで車両を継続して使用することができます。

今回はこれまで行った各車両のガス容器交換の事例について紹介します。

車種	ガス容器	概算費用(万円)
小型バン(カローラ等)	26L×2本	約20～30万円/台
小型トラック(エルフ)	113L×2本	約60～70万円/台
大型バス	125L×6本	約200～220万円/台

注)タンク種類、車両状態等により異なる場合があります。

現在、このガス容器の新品への載せ替え(交換)のお問い合わせが増えていますが、東邦ガスではCNGタンクの交換費用の一部を負担(バス・トラックの場合)いたします。詳細は、

- 東邦ガス(株)都市エネルギー営業部 営業第三グループ
- 天然ガス自動車担当(TEL: 052-872-9356)

までお問い合わせください。

東邦ガス(株) いすゞ製大型バス



初度登録 | 1998年9月

(株)壺番屋さま いすゞエルフ



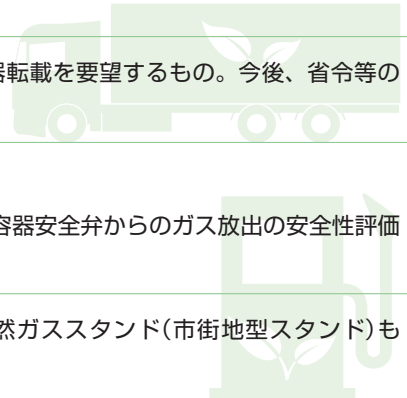
初度登録 | 1998年7月

規制緩和

これまで、ガス業界では天然ガス自動車やスタンドについて規制緩和への取り組みを精力的に行っております。

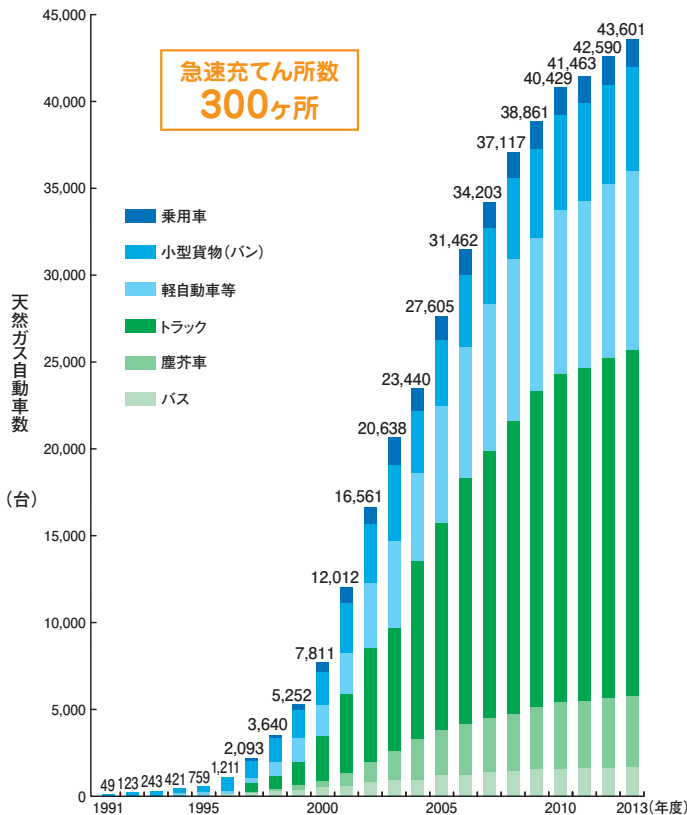
今回は平成25年度、26年度の主な取り組み状況について紹介します。

実施項目	取り組み内容	
車両	ECE-R110基準との整合	<ul style="list-style-type: none"> ●天然ガス自動車の構造に係わる基準(高圧ガス容器を除く)として、ECE-R110基準が受け入れられた。(道路運送車両の保安基準の細目告示が平成26年2月に改正) ●引き続き高圧ガス容器もR110基準の受け入れについて「容器研究会」で26年度も継続検討中。
	容器再検査の合理化	<ul style="list-style-type: none"> ●同一の場所、同一のタイミングで容器再検査と車検を実施できるよう要望。26年度も再度、内閣府に要望の予定。
	高圧容器の転載	<ul style="list-style-type: none"> ●容器製造より15年以内において、他の車両への容器転載を要望するもの。今後、省令等の改正可否について検討予定。
スタンド	ディスペンサーの同一アイランドの設置	<ul style="list-style-type: none"> ●25年度に海外事例調査を実施。 ●26年度はガソリン大量漏洩・火災時におけるCNG容器安全弁からのガス放出の安全性評価の実験等を実施。
	蓄ガス量上限の緩和	<ul style="list-style-type: none"> ●圧縮水素スタンドの蓄ガス量上限撤廃に伴い、天然ガススタンド(市街地型スタンド)も蓄ガス量上限が撤廃される見込み



全国天然ガス自動車普及の推移

(平成26年3月末現在)



天然ガス自動車導入状況*

(平成26年9月末現在)

導入地区	北海道	東北圏	関東圏	東海・北陸圏(内、東邦ガス管内)	近畿圏	中国・四国圏	九州圏	合計
軽自動車	132	106	3,263	2,073(933)	3,008	524	957	10,063
乗用車	68	36	670	420(264)	222	102	55	1,573
小型貨物(バン)	65	96	2,390	1,286(1,007)	1,533	178	174	5,722
トラック	481	170	10,310	2,132(1,620)	4,980	633	439	19,145
塵芥車	34	10	2,477	322(202)	970	67	42	3,922
バス	18	25	846	194(164)	386	77	27	1,573
フォークリフト等	1,656	296	57	10(8)	88	0	29	2,136
合計	2,454	739	20,013	6,437(4,198)	11,187	1,581	1,723	44,134

出典：(一社)日本ガス協会

* 導入台数は新規導入数の累積であり、実際の保有台数とは異なります。



天然ガス自動車に関するお問い合わせ

東邦ガス(株) 都市エネルギー営業部 営業第三グループ(天然ガス自動車担当)
〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19-18 TEL 052-872-9356 FAX 052-881-0008

